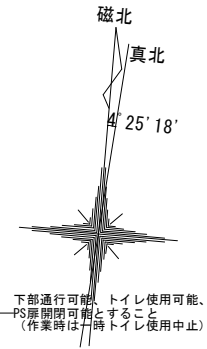


番号	工事内容
③	「中央処置室」拡張 カーテンレール撤去・新設
④	「スタッフ休憩室(6)」空調更新



下部通行可能、トイレ使用可能、
PS扉開閉可能とすること
(作業時は一時トイレ使用中止)

「スタッフ休憩室(6)」空調更新

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
 - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事と支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの盛替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう警備員を配置して行うこと。
 - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業者動線にあたる既設部分には損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
 - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
 - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
 - 工事中、施設利用者に対応し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後方安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
 - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
 - 内部足場は屋内使用のため、足・埃等を落とす清掃したものを要すること。
 - 特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
 - PC床版への射孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
 - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
 - 工事着手前に搬入ルート事前に協議の上、着手すること。
 - 化学療法室の既存ベッド数13床は常時確保する施工計画とすること。
 - 中央処置室の既存ベッド数11床は常時確保する施工計画とすること。
 - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
 - 脳波検査室があるため音には注意すること。

【揚重作業】

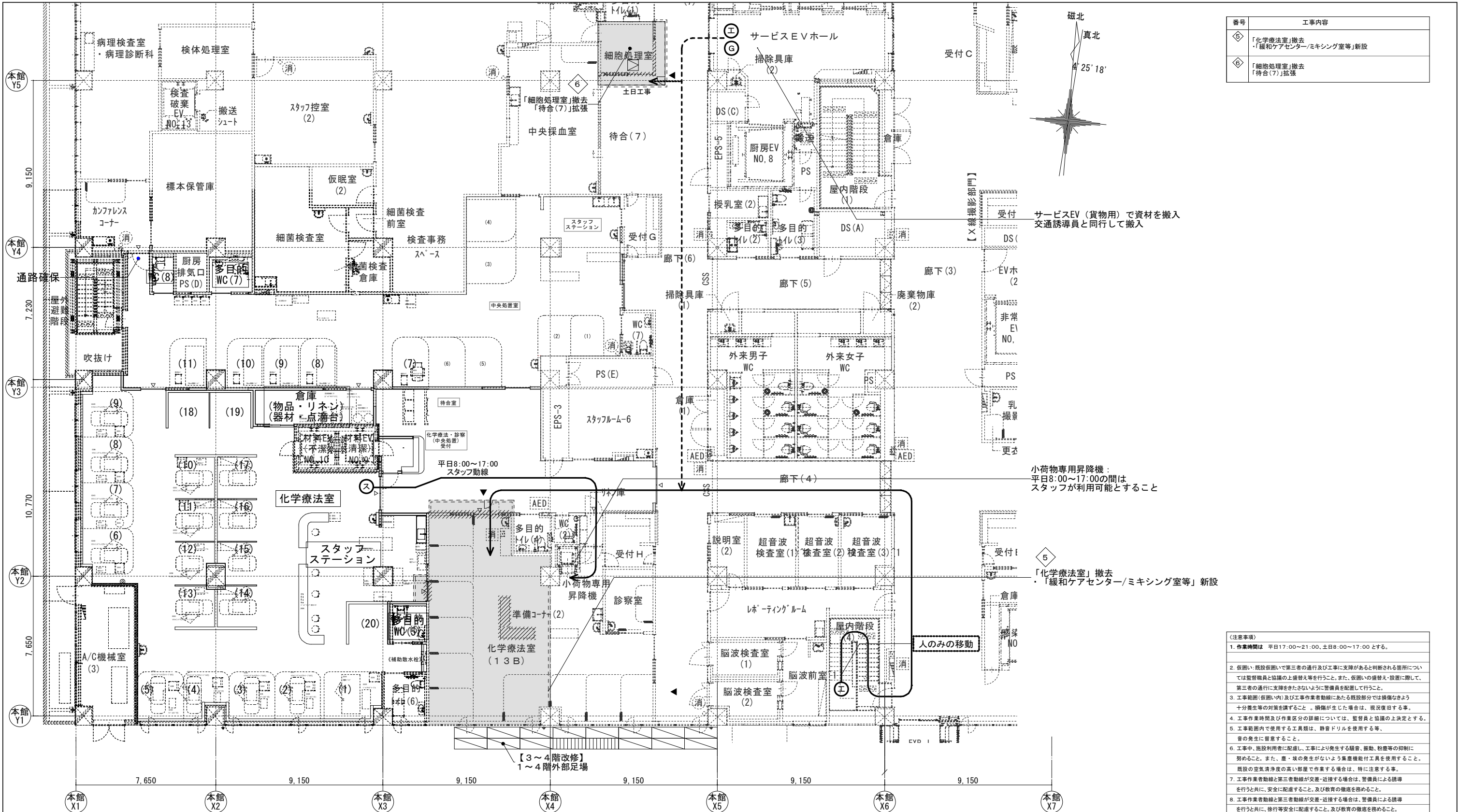
- 交通誘導員2名配置
- 作業開始時間 am 9:30~

※下記作業との日程調整必要

ゴミ庫の回収	毎日	am 7:00~8:00
リネンの搬入	毎日	am 8:00~9:30
液酸タンクの補充	毎週土曜	am 6:00~8:00

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	■	撤去範囲を示す
□	天井撤去範囲を示す	□	仮設間仕切り
○	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	○	仮設扉(W=900、H=1800程度)
△	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	▽	交通誘導員位置
◇	※工事エリア	□	天井点検口600角(新設)
○	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
○	※一般通行エリア	→	来院者動線
○	有効H=1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
○	仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB 19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
○	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の化粧PB t12.5片面張り)	→	工事関係者動線(サブ動線)
○	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板	→	緊急車動線
○	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガード配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館棟	階	内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	工期表												
本館棟	4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計計画⑨										供用開始																													
	4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計計画⑩										供用開始																													
	3階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	本館3階①: 仮設計計画⑧-1 STEP(A)										本館3階②: 仮設計計画⑧-2 STEP(B);(C)										本館3階③: 仮設計計画⑧-3 STEP(D);(E)																			
	3階	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	本館3階④: 仮設計計画⑥										供用開始																													
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計計画⑦										供用開始																														
	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	本館2階②: 仮設計計画⑦-1										本館2階③: 仮設計計画⑦-2										本館2階④: 仮設計計画⑦-3																				
	化学療法室	本館2階⑤: 仮設計計画⑦-4										本館2階⑥: 仮設計計画⑦-5										本館2階⑦: 仮設計計画⑦-6																				
1階	夜次・3次救急 調理室・中央書庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計計画①-1(1)-2										本館1階②: 仮設計計画②										本館1階③: 仮設計計画③										本館1階④: 仮設計計画④-1(4-4)										
	仮設事務室 準備	ER館3階																																								



番号	工事内容
⑤	「化学療法室」撤去 「緩和ケアセンター/ミキシング室等」新設
⑥	「細胞処理室」撤去 「待合(7)」拡張

サービスEV (貨物用) で資材を搬入
交通誘導員と同行して搬入

小荷物専用昇降機:
平日8:00~17:00の間は
スタッフが利用可能とすること

⑤
「化学療法室」撤去
「緩和ケアセンター/ミキシング室等」新設

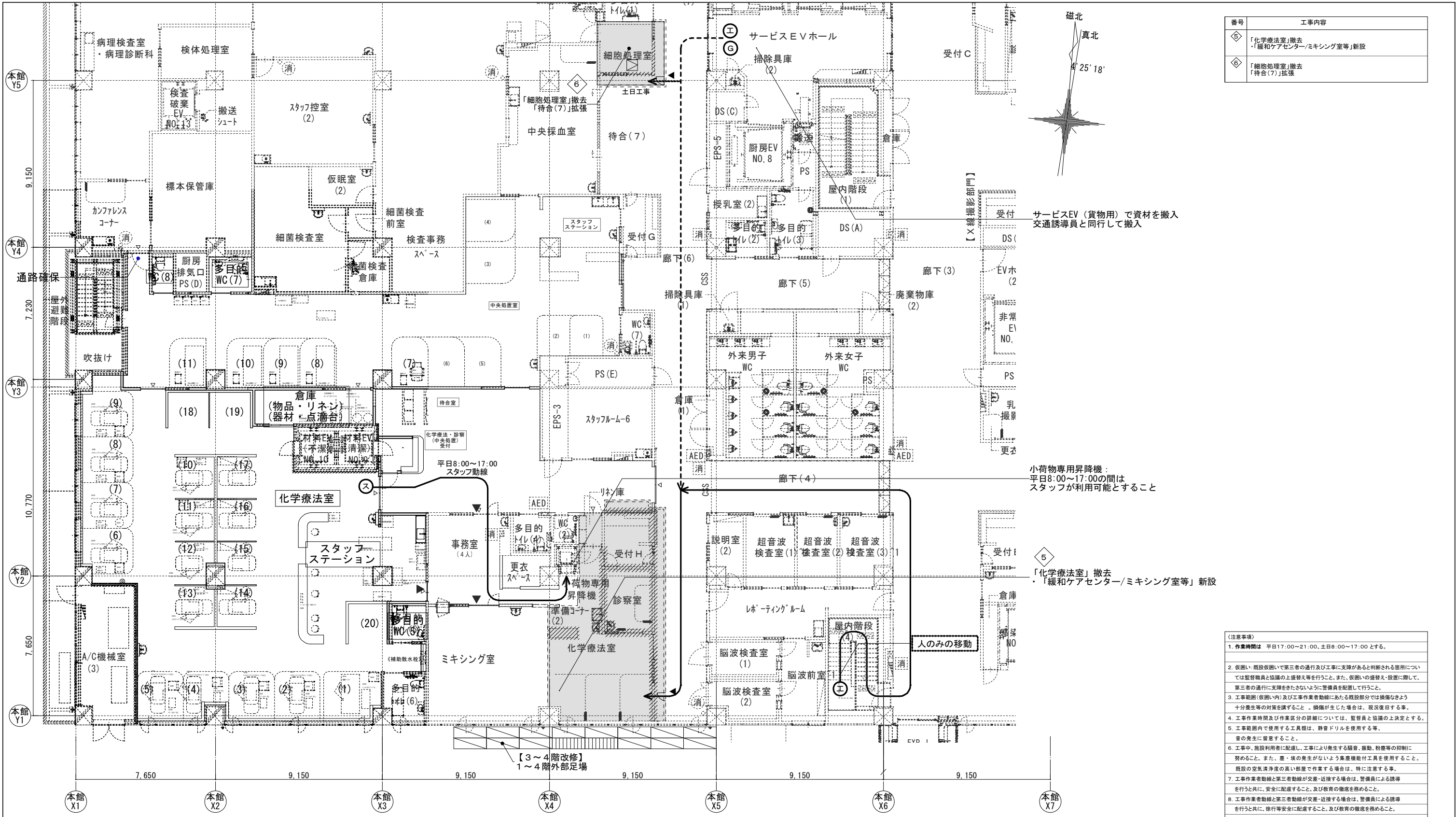
【注意事項】

- 作業時間は 平日17:00~21:00、土日8:00~17:00とする。
- 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事と支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの盛替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう警備員を配置して行うこと。
- 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線に於ける既設部分は損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
- 工事作業動線及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
- 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
- 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、通行等に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
- 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
- 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とす清拭したものを要すること。
- 特に、調理や診察を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
- PC床板への射孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
- 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
- 工事着手前に搬入入ルートを事前に協議の上、着手すること。
- 化学療法室の既存ベッド数13床は常時確保する施工計画とすること。
- 中央処置室の既存ベッド数11床は常時確保する施工計画とすること。
- 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
- 脳波検査室があるため音には注意すること。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す		撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す		仮設間仕切り
	天井撤去(下部通行可)範囲を示す		仮設扉(W=900、H=1800程度)
※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること			
※工事エリア			
	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置		スタッフ動線
	※一般通行エリア		来院者動線
	有効幅=1600(両側居室)、H=2400程度		工事関係者動線(メイン動線)
	仮設天井(経天地下部+不燃化組PB t19.5)		工事関係者動線(サブ動線)
	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化組PB t12.5片面張り)		工事関係者動線(サブ動線)
	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		緊急動線
	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるガードマン配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館棟	階	内容	工期表																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑨	→														供用開始												
		本館4階②: 仮設計画⑩	→														供用開始												
	ICU-HCU、廊下	本館3階①: 仮設計画⑪ STEP(A)	→														供用開始												
		本館3階②: 仮設計画⑫ STEP(B)(C)	→														供用開始												
3階	事務室(1)~女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(0)~スタッフ室	本館2階①: 仮設計画⑬	→														供用開始												
	内視鏡センター~外来化学療法室・廊下	本館2階②: 仮設計画⑭	→														供用開始												
2階	中央処置室、廊下	本館2階③: 仮設計画⑮	→														供用開始												
	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室・待合(7)	本館2階④: 仮設計画⑯	→														供用開始												
1階	2次・3次救急 調理室・中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画⑰(1)-(2)	→														供用開始												
	2次・3次救急 調理室・中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階②: 仮設計画⑱	→														供用開始												
E/F棟	3階	仮設事務室 準備	ER館3階	→																								供用開始	



番号	工事内容
⑤	「化学療法室」撤去 「緩和ケアセンター/ミキシング室等」新設
⑥	「細胞処理室」撤去 「待合(7)」拡張

サービスEV (貨物用) で資材を搬入
交通誘導員と同行して搬入

小荷物専用昇降機:
平日8:00~17:00の間は
スタッフが利用可能とすること

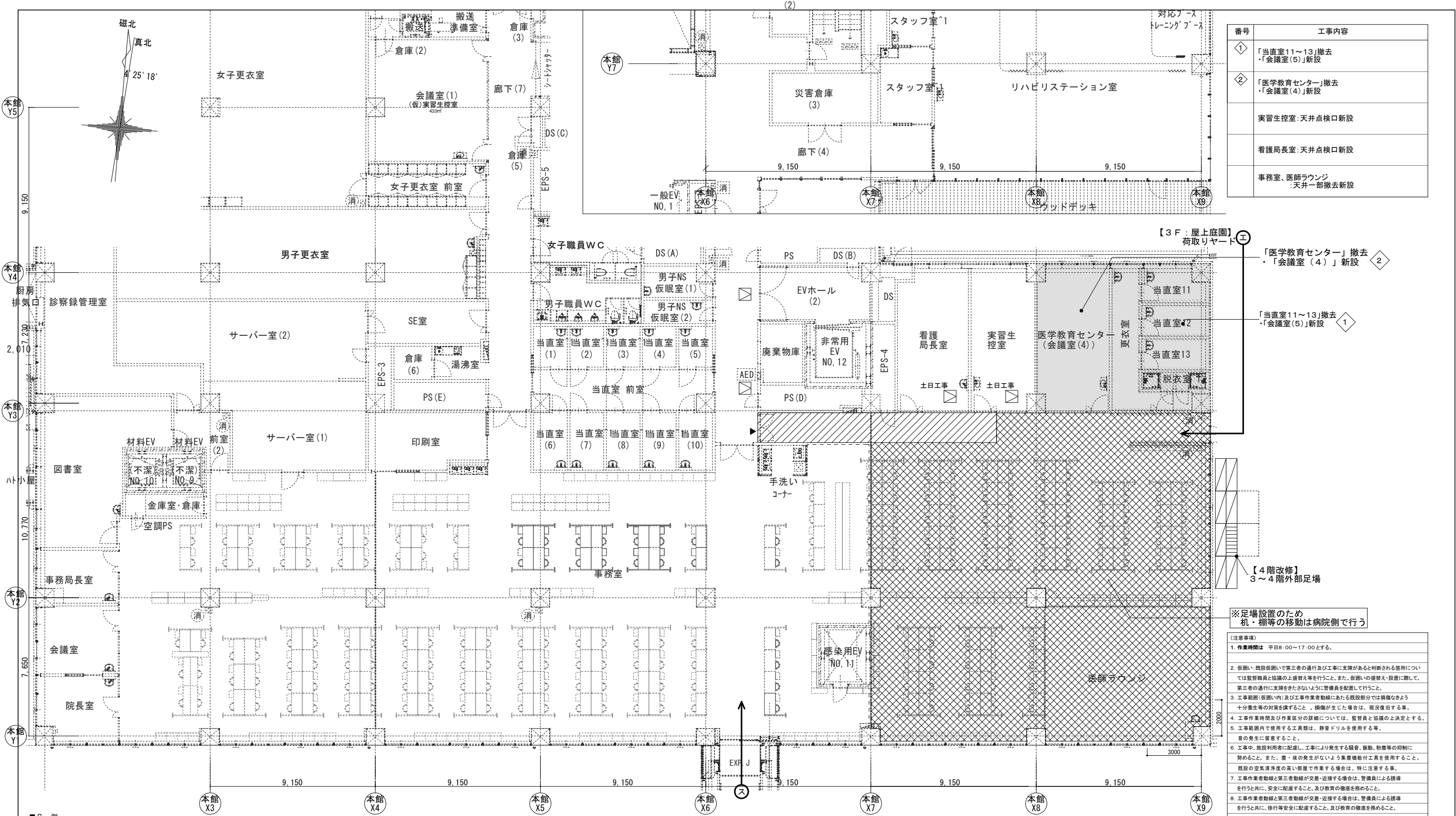
⑤
「化学療法室」撤去
「緩和ケアセンター/ミキシング室等」新設

【注意事項】

- 作業時間は 平日17:00~21:00、土日8:00~17:00とする。
- 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの盛替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう警備員を配置して行うこと。
- 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業者動線に於ける既設部分は損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
- 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
- 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
- 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
- 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、通行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
- 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
- 内部足場は屋内使用のため、足・埃等を落とす清掃したものを要すること。
- 特に、調理や診察を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
- PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
- 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
- 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
- 化学療法室の既存ベッド数13床は常時確保する施工計画とすること。
- 中央処置室の既存ベッド数11床は常時確保する施工計画とすること。
- 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
- 脳波検査室があるため音には注意すること。

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	■	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	▨	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▨	仮設扉(W=900、H=1800程度)
▼	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	▼	交通誘導員位置
▲	※工事エリア	▲	天井点検口600角(新設)
←	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	←	スタッフ動線
→	※一般通行エリア	→	来院者動線
○	有効H=1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
○	仮設天井(経天地下部+不燃化組PB t19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
○	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化組PB t12.5片面張り)	→	工事関係者動線(サブ動線)
○	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板	→	緊急車動線
○	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるガードマツ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。	→	緊急車動線

本館棟	階	内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	工期表			
本館棟	4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑨														供用開始																
	4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計画⑩														供用開始																
	3階	事務室(1)~女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(0)~スタップ室	本館3階①: 仮設計画⑪ STEP(A)														供用開始																
	3階	内視鏡センター~外来化学療法室・廊下	本館3階②: 仮設計画⑫ STEP(B)(C)														供用開始																
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計画⑬														供用開始																	
	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室・待合(7)	本館2階②: 仮設計画⑭														供用開始																	
	化学療法室	本館2階③: 仮設計画⑮														供用開始																	
1階	受診・3次救急 調理室・中央書庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画⑯(1)-(2)														供用開始																	
	調理室・中央書庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階②: 仮設計画⑰														供用開始																	
E/F棟	3階	仮設事務室 準備	E/F棟3階														供用開始																
	3階	仮設事務室 準備	E/F棟3階														供用開始																



番号	工事内容
①	「当直室11~13」撤去 ・「会議室(5)」新設
②	「医学教育センター」撤去 ・「会議室(4)」新設
	実習生控室: 天井点検口新設
	看護局長室: 天井点検口新設
	事務室、医師ラウンジ : 天井一部撤去新設

①	「当直室11~13」撤去 ・「会議室(5)」新設
②	「医学教育センター」撤去 ・「会議室(4)」新設

※足場設置のため
机・棚等の移動は病院側で行う

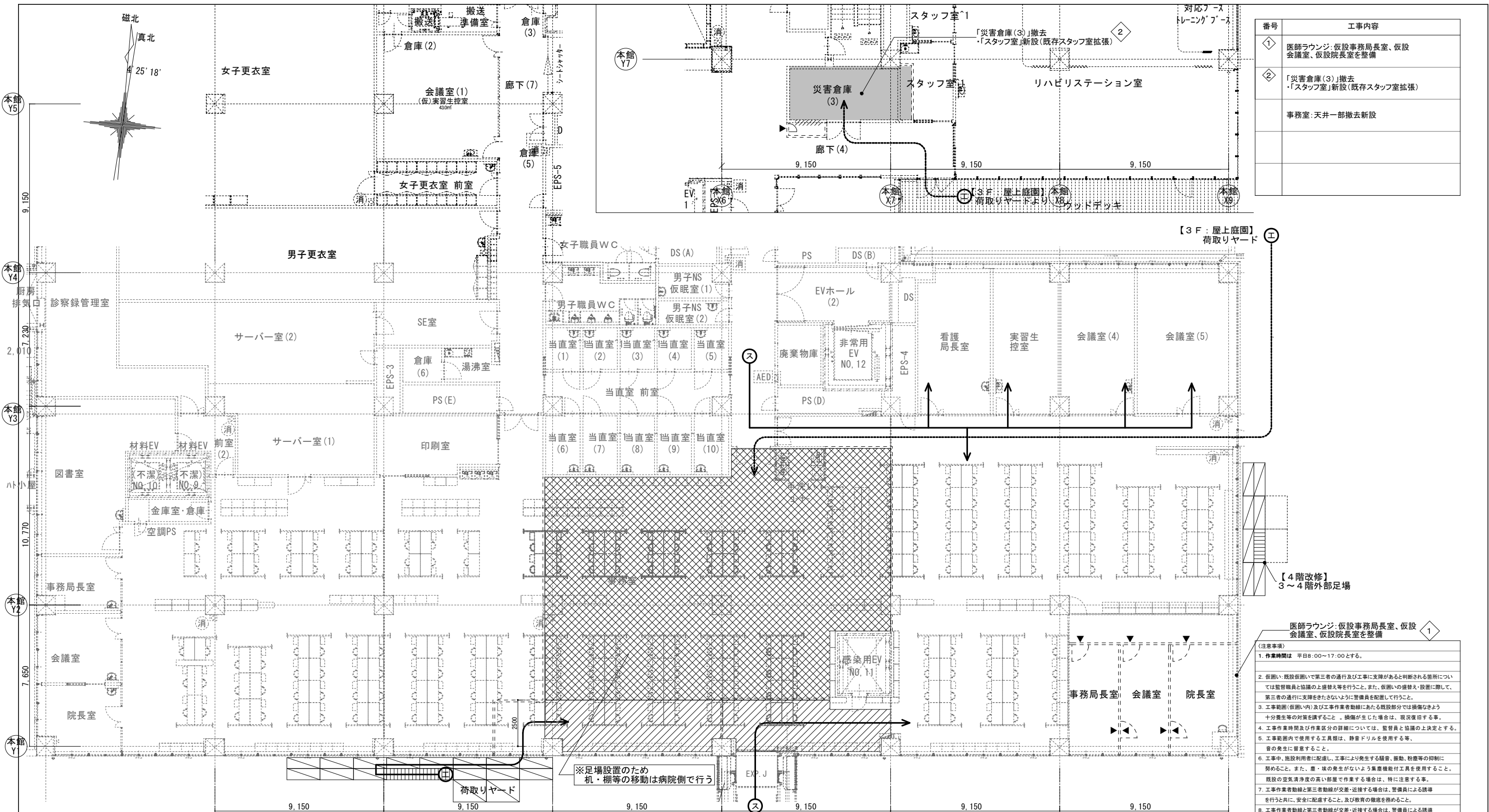
【注意事項】

- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
- 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの盛替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
- 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にある既設部分では損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、復旧後とする。
- 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
- 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
- 工事中、施設利用者に対応し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
- 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
- 内部足場は室内使用のため、足・埃等を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
- PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
- 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
- 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
- 上階で手術を行っているため、騒音には注意すること。
- 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・天井)撤去・改修範囲を示す	▨	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	▬	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W=900、H=1800程度)
▽	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	●	交通誘導員位置
●	※工事エリア	⊠	天井点検口600角(新設)
⊠	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
→	※一般通行エリア	→	来院者動線
→	・有効幅=1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
→	・仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB t19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
→	・仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)	→	救急車動線
→	・仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
→	・最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館棟	階	内容	工期表																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	ICU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑨																											
		ICU-HCU、廊下																											
3階	事務室、会議室(1)~女子更衣室、男子更衣室拡張災害倉庫(3)~スタッフ室	本館3階①: 仮設計画⑧-1) STEP(A)																											
		本館3階②: 仮設計画⑧-2) STEP(B)(C)																											
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計画⑥																											
		本館2階②①②: 仮設計画⑦-①																											
1階	迎客・3次救急、調理学・中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計画①(1-1)(1-2)																											
		本館1階②: 仮設計画②																											
E/F棟	3階	ER館3階																											



番号	工事内容
①	医師ラウンジ: 仮設事務局長室、仮設会議室、仮設院長室を整備
②	「災害倉庫(3)」撤去 ・「スタッフ室」新設(既存スタッフ室拡張)
	事務室: 天井一部撤去新設

医師ラウンジ: 仮設事務局長室、仮設会議室、仮設院長室を整備

(注意事項)

- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
- 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの盛替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
- 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業動線にあたる既設部分では損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、復旧を図る事。
- 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
- 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
- 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、通行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
- 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
- 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
- 内部足場は屋内使用のため、足・接を薄として清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
- PC床版への射孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
- 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
- 工事着手前に搬入ルートを事前に協議の上、着手すること。
- 上階で手術を行っているため、騒音には注意すること。
- 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・天井)撤去・改修範囲を示す	■	撤去範囲を示す
□	天井撤去範囲を示す	□	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W-900、H-1800程度)
○	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	⊙	交通誘導員位置
⊙	※工事エリア	⊙	天井点検口600角(新設)
⊙	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	⊙	スタッフ動線
⊙	※一般通行エリア	⊙	来院者動線
⊙	有効H=1600(両側居室)、H=2400程度	⊙	工事関係者動線(メイン動線)
⊙	仮設天井(経天地下+不燃化箱PB t19.5)	⊙	工事関係者動線(サブ動線)
⊙	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化箱PB t12.5片面張り)	⊙	救急車動線
⊙	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
⊙	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館	階	図面記号	名称	工期表																										
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	ICU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計画⑧	供用開始																											
3階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	本館3階①: STEP(A)	供用開始																											
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計画⑥	供用開始																											
1階	化学療法室・ミキシング室・診察室 細胞処理室(待合)	本館1階①: 仮設計画⑪(1)-(2)	供用開始																											
E/F	仮設事務室 準備	ER館3階	供用開始																											